

## 「新一万円札」の顔記念企画

# 渋沢 栄一をもっと身近に! “渋沢めぐり”

当社創業者である渋沢 栄一が、2024年7月に発行される新一万円札の「顔」となります。お札の肖像は、栄一が古希(70歳)を迎えた際に撮影された肖像写真を参考に描かれたものです。財布に入るお札に描かれることで、より身近な存在となる栄一に思いをはせるとともに、渋沢史料館(東京都北区)、東京駅周辺に点在する栄一像などについて紹介します。



お札のモデルになった古希の時の写真  
※渋沢史料館所蔵

## 渋沢 栄一に多面的に触れられる「渋沢史料館」

東京都北区  
西ヶ原2-16-1

渋沢 栄一の活動を広く紹介する博物館として、1982年に開館。かつて栄一が住んでいた旧渋沢邸跡地に立つ同館では、栄一の生涯と事績に関する史料を収蔵・展示し、関連イベントなども随時開催しています。旧渋沢庭園に残る大正期の2棟の建築「晩香廬」「青淵文庫」の内部公開も行われています。

### Interview

## 桑原 功一館長にお伺いしました

— 渋沢 栄一がお札の顔に選ばれたことに関して来場者からの反響、またこのことを記念して開催した「顔」をテーマとした企画展について教えてください

### 栄一の人間性に触れてほしい!

来館者からは「どの顔が新一万円札に使われたのか?」という質問が多いですね。新一万円札への採用に関心が高いと感じます。企画展では、栄一のいろいろな表情を見ていただきたいと思います。最近、栄一は“偉人”という取り上げられ方が多いですが、実は情に厚く、人間味にあふれた人です。喜怒哀楽などの人間性にも触れていただき、身近に感じていただけたら幸いです。



桑原 功一館長

— 桑原館長が考える栄一の「顔」とは?

### 巻き込み力がすごい!

栄一は、公益に資するもの、「社会がゆたか」になる事業を、人を巻き込みながら、手掛けました。一人でできる事業であっても、一人ではやりませんでした。自分がいなくなった後も永續した事業にするためには、周囲も賛同する事業でなければ一過性となり、かえって社会に悪影響を及ぼすと考えていたからです。それを実現するために、必要だと思った人には一度断られても、口説き続け、道理にかなうと思ったら諦めない、粘り強さがありました。

— 当社グループの企業理念は、栄一の座右の銘の一つである『順理則裕』です。当社グループ従業員へのメッセージをお願いします

### 小立志が大立志につながる!

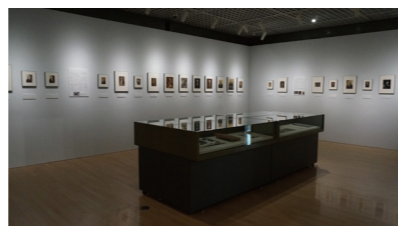
道理にかなうことを実践しながら、社会をゆたかに、自らも楽しんで仕事をしてほしいと思います。身近で自分ができること(小立志)を積み重ねる中で、仲間を増やして力をつける。これが社会をゆたかにすること(大立志)につながると思います。『順理則裕』という言葉は、経済だけにとどまらず、心ゆたかに幸せに、という願いが「裕」という文字に込められています。ぜひ、大切にしていってほしいと思います。

### 企画展示

## 新一万円札発行記念企画展 渋沢栄一肖像展 II 造形作品 (6月29日~11月24日)

渋沢史料館では、企画展を2期にわたって開催しています。ぜひ、企画展を通して、栄一を身近に感じてください!

第1期は写真を中心としていましたが、第2期は絵画、彫刻などを展示しています。



第1期の展示会場。いろいろな表情の栄一に出会えました

## 東洋紡と渋沢 栄一

東洋紡の前身となる大阪紡(創立1882年)と三重紡(創立1886年)は、いずれも渋沢 栄一が創立に関わり、育成に尽力した会社です。両社の相談役を兼ねていた栄一のあっせんにより両社は合併し、1914年、東洋紡績\*が創立されました。東洋紡績の名は、栄一が名付け親で、「東洋一の大紡績に」との希望から出たものです。

※2012年に「東洋紡株式会社」に商号を変更



オウンドメディア  
「Voice by TOYOBO」に  
渋沢 栄一に関する  
クイズがあるよ!



## 渋沢 栄一がお札に選ばれた理由

渋沢 栄一は、産業の育成に尽くした人物として選定されました。栄一は、1873年に大蔵省を退官し、自らが設立を指導した第一国立銀行(現・みずほ銀行)の総監役となります。それ以来、民間から広く資金を募り、多くの近代日本経済の基盤となる株式会社の創立・育成に努めました。その数は、なんと500社に上るといわれています。個々では大きくない資本を広く集めて事業を興し、利益を分配することで、みんながゆたかになることを望み、生涯にわたり経済界全体の活性化に力を尽くしました。



当社の創業者 渋沢 栄一は2024年7月より新一万円札の「顔」になります

## “渋沢さん”に会いに行こう!! ~栄一像めぐり 東京さんぽマップ~

### 1 飛鳥山公園内 旧渋沢庭園

●北区西ヶ原2-16-1

飛鳥山公園内にある渋沢史料館にも像が3つありますよ!探してみてください



### 3 東京商工会議所

●千代田区丸の内3-2-2  
丸の内二重橋ビル

東京商法会議所(当時の名称)を設立し、初代会頭を務めていた頃の栄一がモデルです



### 2 常盤橋公園

●千代田区大手町2-7-2

日本銀行を背に大手町を望む地に建っています



### 4 帝国ホテル 東京

●千代田区内幸町1-1-1

栄一は、海外からの賓客をもてなすため、発起人となり同ホテルを開業しました



※写真提供:帝国ホテル 東京



## 帝国ホテル 東京

### 渋沢カリー~初代会長 渋沢 栄一にオマージュを込めて~

栄一がパリ万博に参列する将軍名代・徳川 昭武一行の一員として渡欧した際、途中で立ち寄ったセイロンでカレーに出合ったというエピソードから着想を得て作られたそう。スパイスを効かせたココナッツミルクが香るカレーと、栄一の出身地である埼玉県深谷市の名産品であるネギが相性抜群です。



本館1階「パークサイドダイナー」  
3,500円(税・サ込)  
※写真提供:帝国ホテル 東京

栄一像を巡った後は、  
ゆかりの人気料理を  
楽しんで♪